

令和6年度

統計資料等を活用した県内景気動向等の分析調査報告書

利府松島商工会

# ○県内景気動向

(みやぎ経済月報 2025年1月号より引用)

## 1 生産

### ○ 鉱工業生産指数

11月の鉱工業生産指数(季節調整値、令和2年=100)は101.9(速報値)で、前月比は6.7%低下し、2か月ぶりの低下となった(図1、2)。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、鉄鋼・非鉄金属工業など6業種が上昇した。一方で、汎用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業など9業種が低下した。

前年同月比(原指数)では2.9%上昇し、2か月連続の上昇となった。

(資料: 県統計課)

図1: 前月比(季節調整済指数)

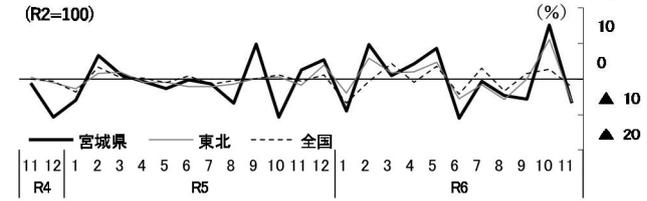
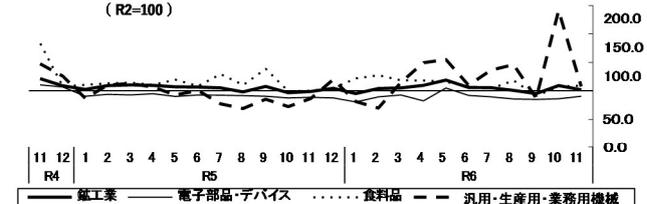


図2: 季節調整済指数(宮城県)



## 2 住宅投資

### ○ 新設住宅着工戸数

11月の新設住宅着工戸数は1,246戸で、前年同月比2.8%減少し、4か月連続の減少となった(図3、4)。

利用別に前年同月比をみると、持家は19.4%増加し、2か月連続の増加となった。

貸家は9.5%減少し、4か月連続の減少となった。

分譲住宅は9.3%減少し、2か月連続の減少となった。

(資料: 国土交通省)

図3: 前年同月比

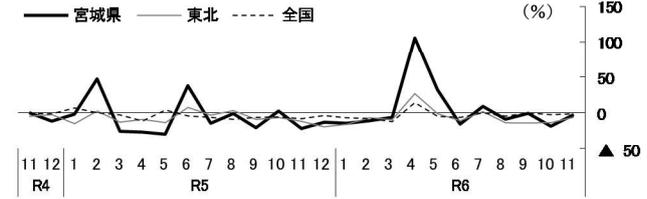
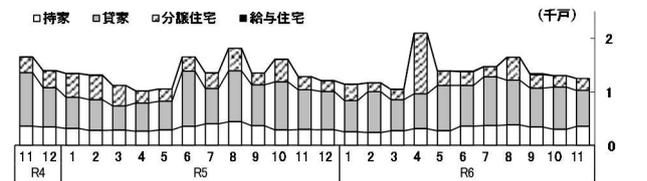


図4: 戸数(宮城県)



## 3 公共投資

### ○ 公共工事請負金額

12月の公共工事請負金額は130億2百万円で、前年同月比29.3%減少し、4か月連続の減少となった(図5、6)。

発注者別に前年同月比をみると、国は59.2%減少し、5か月連続の減少となった。都道府県は5.6%増加し、2か月連続の増加となった。市町村は49.2%減少し、2か月連続の減少となった。その他\*(独立行政法人等、地方公社、その他)は13.6%増加し、3か月連続の増加となった。

※「その他」は、県が算出。

(資料: 東日本建設業保証(株))

図5: 前年同月比

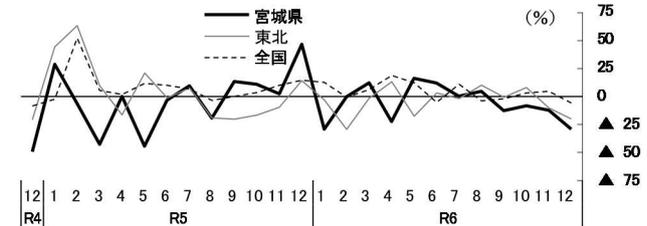
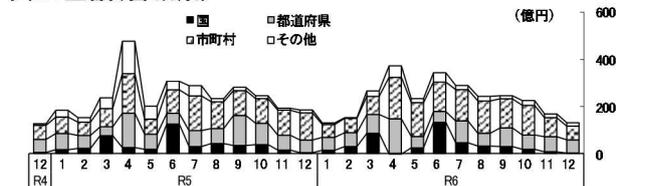


図6: 金額(宮城県)



## 4 個人消費

### (1) 百貨店・スーパー販売額

11月の百貨店・スーパー販売額は350億円で、全店舗比較では前年同月比1.3%増加し、2か月ぶりの増加となった(図7、8)。既存店比較は2.6%増加し、2か月ぶりの増加となった。

(資料:経済産業省)

図7:前年同月比(全店舗、百貨店・スーパー計)

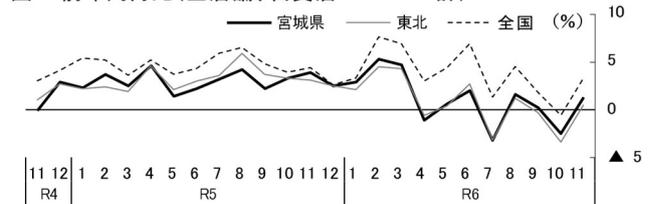
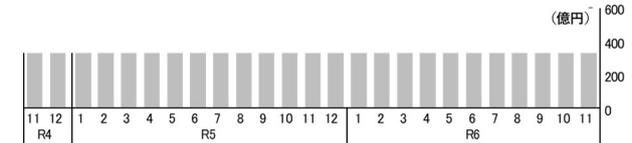


図8:金額(宮城県)



### (2) コンビニエンスストア販売額

11月のコンビニエンスストア販売額は198億円で、前年同月比0.3%増加し、9か月ぶりの増加となった(図9、10)。

(資料:経済産業省)

図9:前年同月比

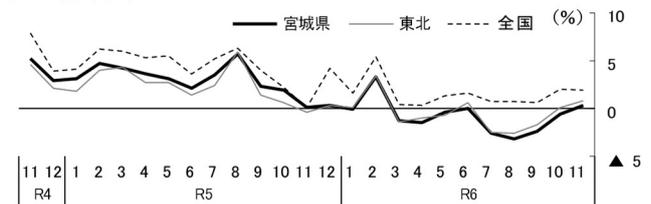
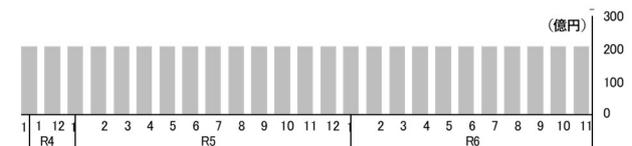


図10:金額(宮城県)



### (3) 家電大型専門店販売額

11月の家電大型専門店販売額は58億円で、前年同月比1.5%減少し、5か月連続の減少となった(図11、12)。

(資料:経済産業省)

図11:前年同月比

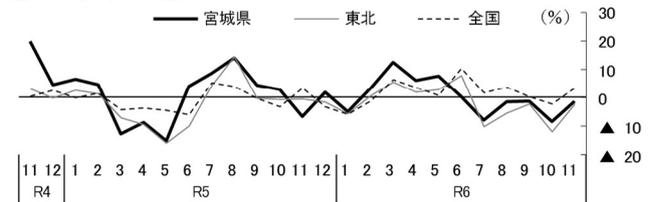
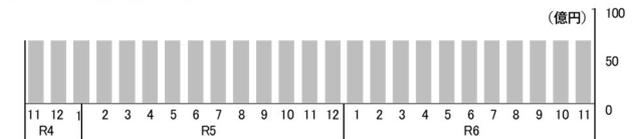


図12:金額(宮城県)



**(4) ドラッグストア販売額**

11月のドラッグストア販売額は152億円で、前年同月比5.3%増加し、44か月連続の増加となった(図13、14)。

(資料:経済産業省)

図13:前年同月比

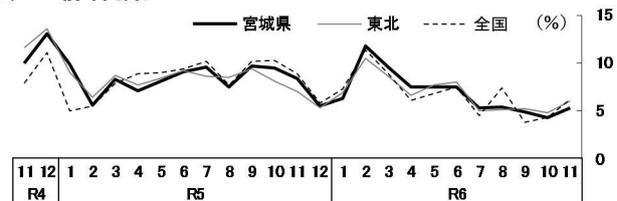
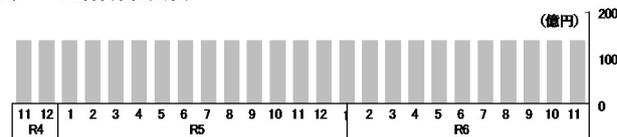


図14:金額(宮城県)



**(5) ホームセンター販売額**

11月のホームセンター販売額は56億円で、前年同月比0.2%増加し、2か月ぶりの増加となった(図15、16)。

(資料:経済産業省)

図15:前年同月比

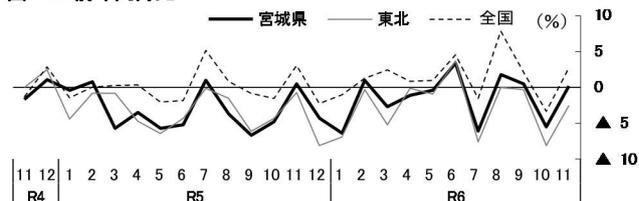
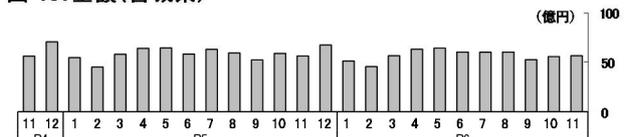


図16:金額(宮城県)



**(6) 百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額計(参考値※)**

11月の百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額計(参考値)は814億円で、前年同月比1.5%増加し、2か月ぶりの増加となった(図17、18)。

※4(1)~(5)各公表値(端数調整済)を県が合算。

図17:前年同月比

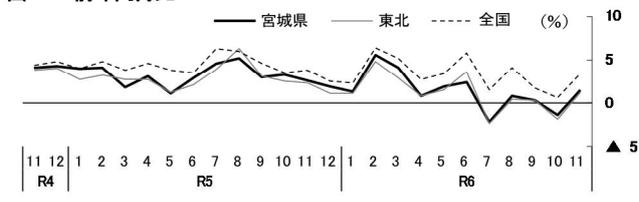
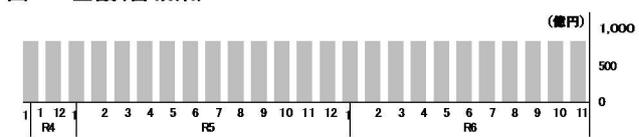


図18:金額(宮城県)



**(7) 乗用車新車登録及び届出台数**

12月の乗用車新車登録及び届出台数(普通乗用車、小型乗用車、軽乗用自動車の合計)は5,058台で、前年同月比12.6%減少し、3か月連続の減少となった(図19、20)。

車種別に前年同月比をみると、普通車は8.9%減少し、3か月ぶりの減少となった。小型車は22.8%減少し、12か月連続の減少となった。軽自動車は10.2%減少し、3か月連続の減少となった。

(資料:東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

図19:前年同月比(普通車、小型車、軽自動車)

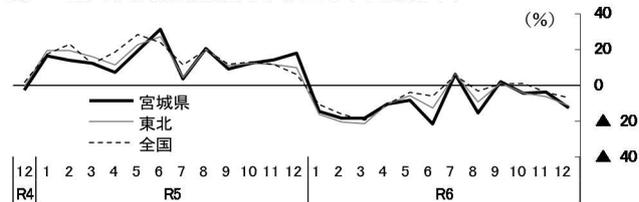
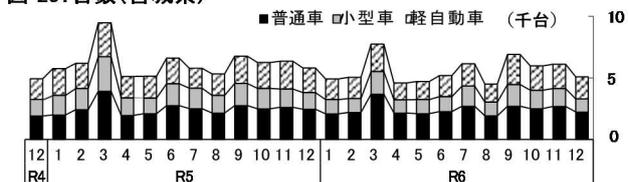


図20:台数(宮城県)



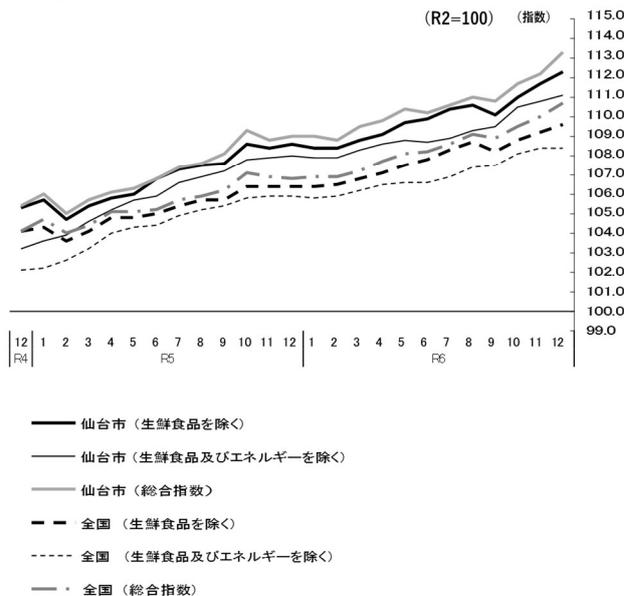
## (8) 物価

12月の仙台市消費者物価指数を前月比で見ると、生鮮食品を除く総合指数(令和2年=100)は112.3で、前月比0.6%上昇した。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数(同)は111.1で、前月比0.3%上昇した。総合指数(同)は113.3で、前月比1.0%上昇した。(図21)。

前年同月比で見ると、生鮮食品を除く総合指数(同)は3.5%上昇し、42か月連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数(同)は2.9%上昇し、33か月連続の上昇となった。総合指数(同)は4.0%上昇し、40か月連続の上昇となった。

(資料: 県統計課)

図 21: 消費者物価指数



## 5 雇 用

### (1) 求人倍率

11月の有効求人倍率(季節調整値、新規学卒者除きパートタイム含む)は1.24倍で、前月を0.02ポイント上回り、8か月ぶりの上昇となった(図22)。新規求人倍率(同)は1.90倍で、前月を0.02ポイント上回り、2か月ぶりの上昇となった(図23)。

有効求人数及び新規求人数(原数値、新規学卒者除きパートタイム含む)は、有効は前年同月比7.1%減少し18か月連続の減少となった。新規は前年同月比6.8%減少し、14か月連続の減少となった。

新規求人数(原数値・前年同月比)を産業別にみると、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「学術研究、専門・技術サービス業」で増加となった。一方で、「サービス業」、「建設業」、「製造業」などで減少となった。

(資料: 宮城労働局)

図 22: 有効求人倍率(季節調整済)

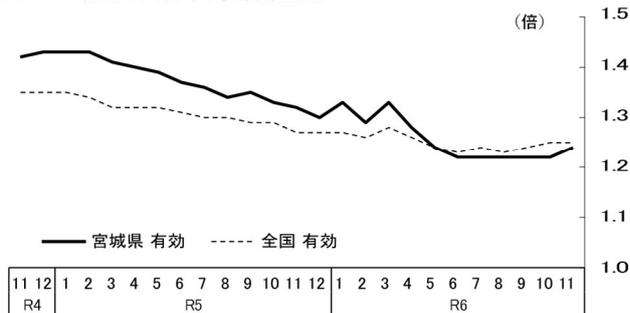
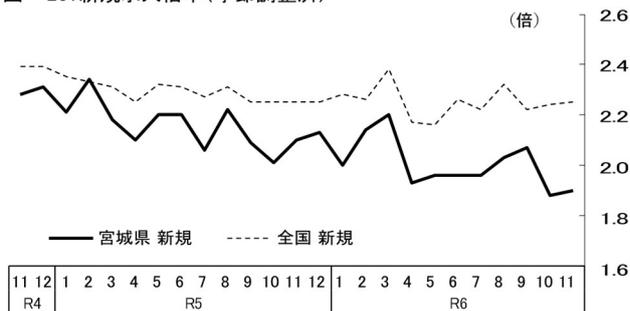


図 23: 新規求人倍率(季節調整済)



## (2) 所定外労働時間

11月の所定外労働時間(製造業、事業所規模30人以上、1人平均月間)は15.8時間で、前年同月比(指数、令和2年=100)が11.2%増加し、5か月連続の増加となった(図24、25)。

(資料: 県統計課)

図24: 前年同月比(製造業・30人以上、指数(R2=100))

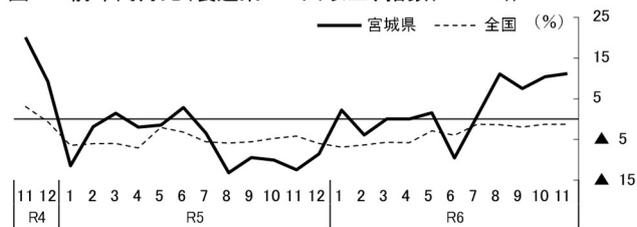
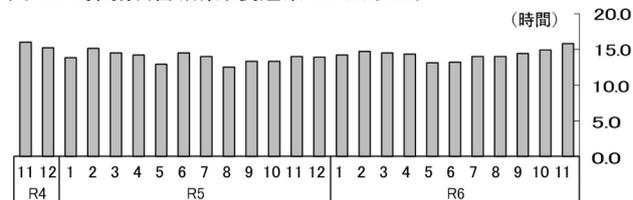


図25: 時間数(宮城県、製造業・30人以上)



## (3) 実質賃金指数

11月の実質賃金指数(令和2年=100、現金給与総額、製造業、事業所規模30人以上)は93.2で、前年同月比が8.5%上昇し、4か月連続の上昇となった(図26、27)。

(資料: 県統計課)

図26: 前年同月比(製造業・30人以上、指数(R2=100))

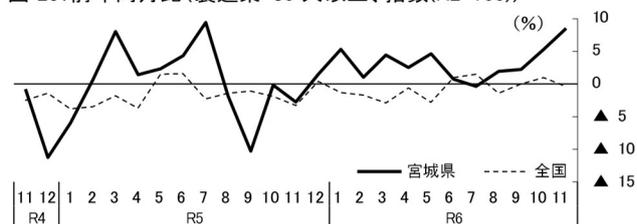
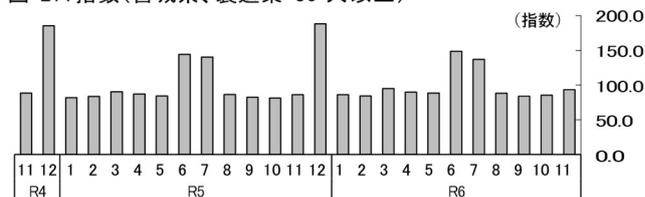


図27: 指数(宮城県、製造業・30人以上)



## (4) 雇用保険受給者実人員

11月の雇用保険受給者実人員は7,957人で、前年同月比5.9%減少し、2か月連続の減少となった(図28、29)。

(資料: 宮城労働局)

図28: 前年同月比

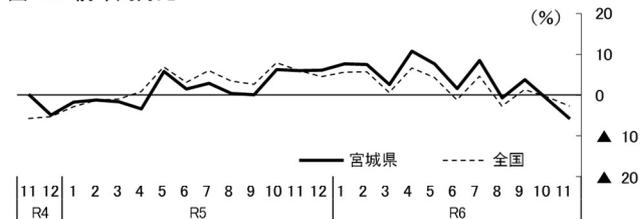
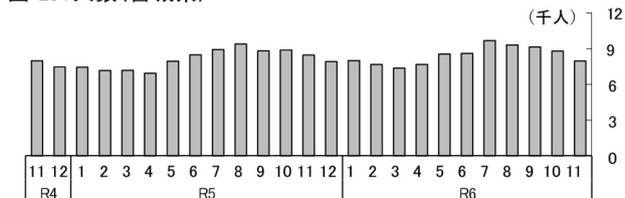


図29: 人数(宮城県)



## 6 企業倒産

12月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は8件で、前年同月比38.5%減少し、3か月ぶりの減少となった(図30)。負債総額は5億74百万円で、前年同月比41.3%減少し、2か月連続の減少となった(図31)。

大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

不況型倒産(販売不振、売掛金回収困難、既往のシワ寄せ(赤字累積))の件数は6件となり、全体に占める構成比は75.0%となった。

(資料: ㈱東京商工リサーチ)

図30: 前年同月比(件数)

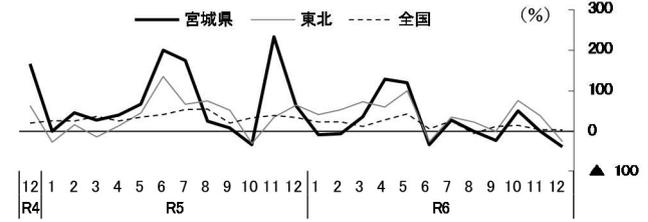
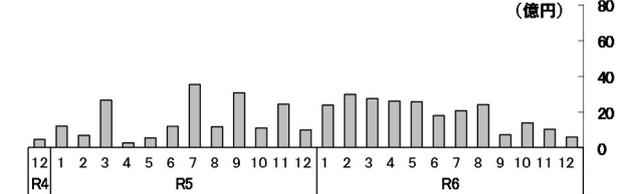
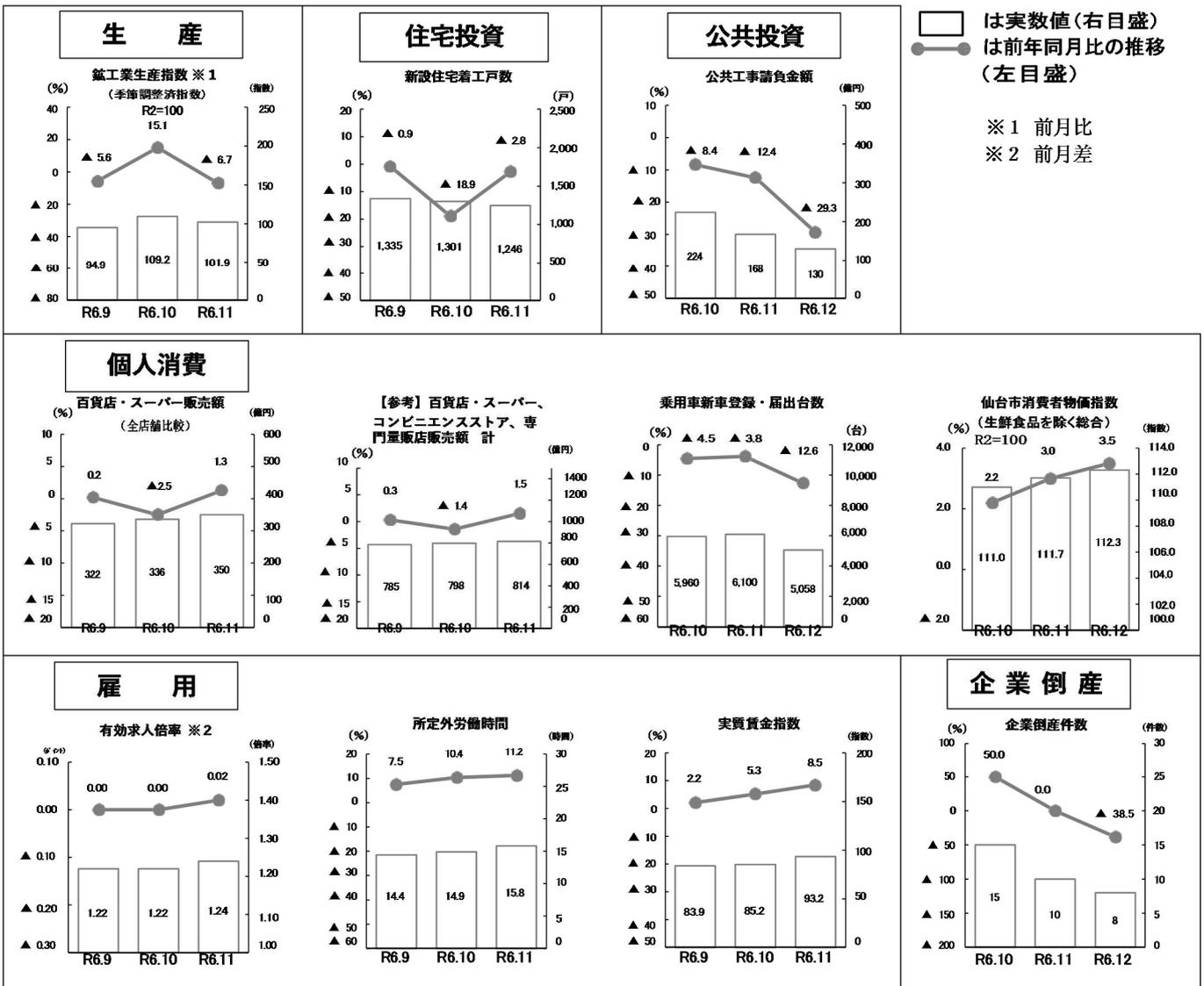


図31: 負債総額



### 直近3か月の経済動向 (前年同月比の動き)



## IV 全国・東北等の景況

<b>1 全国の景況</b>
月例経済報告（内閣府） 1月23日 [ <a href="https://www.cao.ofto.jp/">https://www.cao.ofto.jp/</a> ]
<p>景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。</li><li>・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。</li><li>・輸出は、おおむね横ばいとなっている。</li><li>・生産は、横ばいとなっている。</li><li>・企業収益は、総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている。企業の業況判断は、改善している。</li><li>・雇用情勢は、改善の動きがみられる。</li><li>・消費者物価は、上昇している。</li></ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p>
経済・物価情勢の展望 ―展望レポート― 基本的見解（日本銀行） 1月24日 [ <a href="https://www.boj.or.jp/">https://www.boj.or.jp/</a> ]
<p>わが国の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。海外経済は、総じてみれば緩やかに成長している。輸出や鉱工業生産は横ばい圏内の動きとなっている。企業収益は改善傾向にあり、業況感は良好な水準を維持している。こうしたもとの、設備投資は緩やかな増加傾向にある。雇用・所得環境は緩やかに改善している。個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、緩やかな増加基調にある。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。わが国の金融環境は、緩和した状態にある。物価面では、消費者物価（除く生鮮食品）の前年比をみると、既往の輸入物価上昇を起点とする価格転嫁の影響は減衰してきているものの、賃金上昇等を受けたサービス価格の緩やかな上昇が続くもとの、政府によるエネルギー負担緩和策の縮小もあって、足もとは3%程度となっている。予想物価上昇率は、緩やかに上昇している。</p>

## 2 東北の景況

管内（東北6県）の経済動向（東北経済産業局） 1月24日

[ <https://www.tohoku.meti.ofto.jp/> ]

緩やかに持ち直している

- ・鉱工業生産:持ち直しの動きがみられる
- ・個人消費:改善の動きに足踏みがみられる
- ・住宅着工:4か月連続で前年同月を下回った
- ・公共投資:2か月ぶりに前年同月を下回った
- ・設備投資:前年度を上回る見込み
- ・雇用:有効求人倍率は前月と比べ上昇
- ・企業倒産:倒産件数は前年同月を上回った

(※前月と基調判断に変更がある場合は矢印で上下を示している。)

経済の動き（日本銀行仙台支店） 1月28日

[ <https://www3.boj.or.jp/sendai/> ]

東北地域の景気は、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回っている。

## 3 宮城県の景況

県内経済の基調判断（七十七リサーチ&コンサルティング株式会社） 1月10日

[ <https://www.77rc.co.jp/> ]

総括判断

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

# ○宮城県圏内の消費購買動向

(令和3年消費購買動向調査報告書より引用)

## 宮城県の商圈（消費購買動向調査報告書）の概要について

### 1 調査の目的

- 県内における商圈の変化や消費購買動向の実態を明らかにし、地域商業の振興に活用する。
- 昭和53年の第1回調査から3年おきに実施（前回調査：平成30年度）。今回で15回目。

### 2 調査の概要

- (1) 調査実施時期 令和3年10月中旬
- (2) 調査方法 県内公立小学校3年生児童の保護者を対象としたアンケート調査
- (3) 調査数 有効回答数 9,574 / 調査票配布数 11,926（有効回答率 80.3%）

#### 《本調査における用語の定義》

- ・ 商 圏 = 商圈中心市区町村へ買回品の購入に訪れる人々の範囲。  
〔買回品の購買先支持率を基準に地元購買率が30%以上で、かつ吸引率が15%以上の市区町村を有する場合、「商圈が形成されている」と定義。〕
  - ・ 商圈中心市区町村 = 地元及び周辺の市区町村から多くの方が買回品の購入に訪れる市区町村。商圈の中心。
  - ・ 吸引人口 = 商圈人口のうち、商圈中心市区町村へ買回品の購入に訪れる人数。
  - ・ 買 回 品 = 衣料品、靴・バッグ・アクセサリ、スポーツ・レジャー用品、書籍・文房具、玩具・ゲーム、家具・インテリア用品、家電・パソコン類、贈答品。
- ※調査分析は、過去の調査との比較のため、平成14年以前の旧市区町村単位となっている。

### 3 調査結果の概要

#### (1) 商圈の変化

##### ○商圈範囲の縮小による超広域型商圈の消滅

商 圏 類 型	今 回 (R3) 調 査	前 回 (H30) 調 査
超 広 域 型		仙台青葉
広 域 型	仙台青葉、仙台宮城野、仙台太白、 仙台泉、旧石巻、名取、旧古川	仙台宮城野、仙台太白、仙台泉、 旧石巻、名取、旧古川
地 域 型	旧気仙沼、多賀城、旧迫、大河原、 利府、富谷	旧気仙沼、多賀城、旧迫、大河原、 利府、富谷
地 区 型	旧築館	旧築館
合 計	14 商 圏	14 商 圏

- 超 広 域 型：広域型商圈の中でも広域行政圏を超えて広く県域を範囲とする商圈。
- 広 域 型：商圈範囲が主として広域行政圏の広がりを持ち、吸引人口が10万人以上。
- 地 域 型：商圈範囲が主として広域行政圏に準ずるか若しくはその一部に相当する広がりを持ち、吸引人口が2万人以上。
- 地 区 型：上記以外の規模の小さな商圈。

○仙台中心部（駅前～一番町）の吸引人口の減少

	H20	H24	H27	H30	R3
構成市区町村数	18	14	8	16	5
吸引人口（人）	134,404	119,352	73,927	101,854	60,216

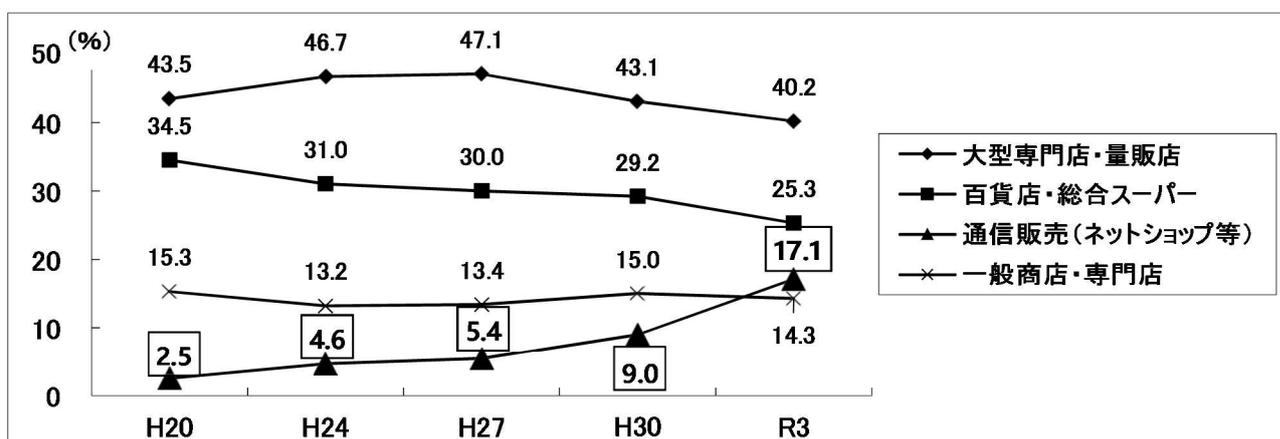
○吸引人口の増減状況（前回比較5%以上の変化） ※[ ]内は前回調査からの増減率

- ・増加した商圈…【3商圈】利府[+17.5%] 旧築館[+13.0%] 多賀城[+9.8%]
- ・減少した商圈…【5商圈】仙台青葉[-19.1%] 仙台宮城野[-11.4%] 仙台泉[-11.2%]  
仙台太白[-10.6%] 旧石巻[-7.2%]

(2) 消費者の買物動向

○通信販売（ネットショップ等）の大幅増

- ・買物先店舗の形態別支持率（買回品）



○増加に転じた地元購買率

	H20	H24	H27	H30	R3
地元購買率（平均）	18.6%	16.9%	16.3%	15.9%	16.7%

- ・主な増加した市区町村 ※[ ]内は前回調査からの増減  
 利府町 62.8% [+11.3] 旧迫町 69.3% [+8.0] 旧築館町 39.0% [+6.5]  
 涌谷町 22.9% [+6.4] 亘理町 19.1% [+6.3] 名取市 71.7% [+5.2]

(3) 地元商店・商店街に求める役割

○消費者は、生活を支える役割を期待

- ・日用品・食料品の販売 29.6%
- ・外食サービスの提供 14.8%
- ・まちのにぎわい創出の担い手 13.2%
- ・オリジナル商品・限定品等の販売 11.3%
- ・地域コミュニティの拠点 11.0%

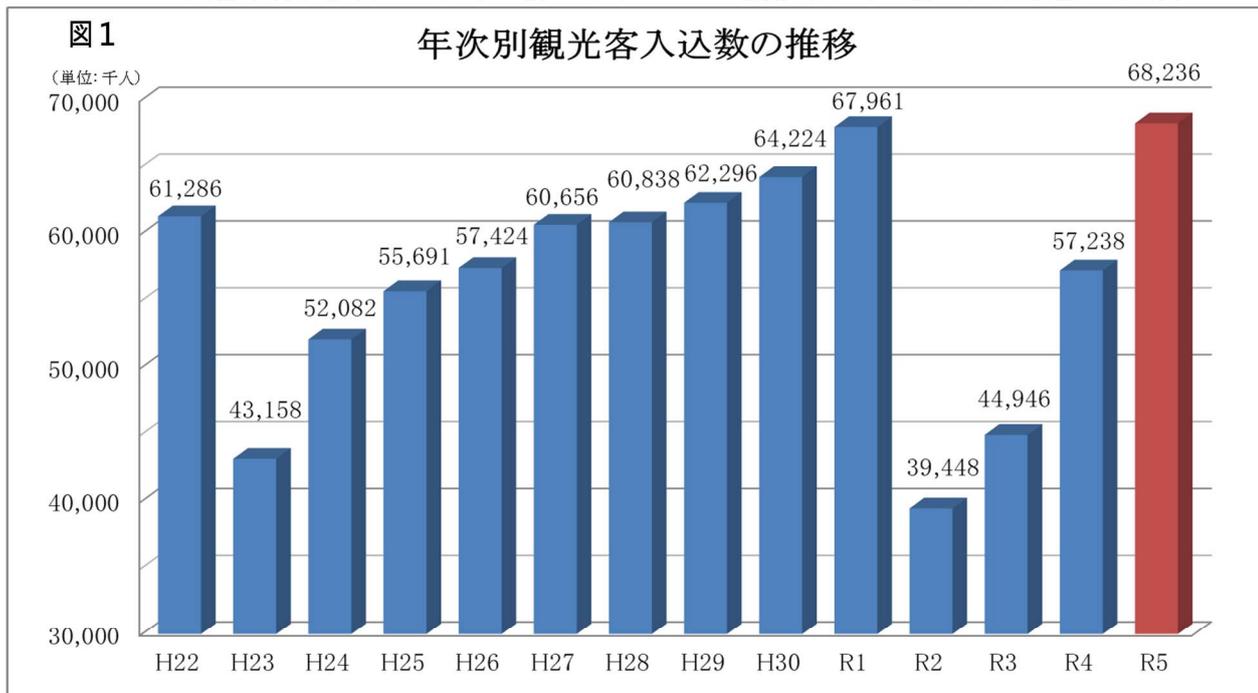
## ○地域内の観光動向

(令和5年度観光統計概要より引用)

### (1) 観光客入込数

県全体の観光客入込数は 68,236 千人で、前年に比べ 10,998 千人の増加(+19.2%)となり、コロナ拡大前の令和元年を上回り、過去最高の観光客入込数を記録しました。

前年から増加した要因としては、5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことなどを背景に、仙台市における仙台・青葉まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバルなどの大規模イベントが通常規模で開催されたことのほか、全国都市緑化仙台フェアなど新たなイベントが開催され、全体の入込数を大きく押し



上げました。

### (2) 圏域別観光客入込数

仙南圏域では、観光客入込数が 6,702 千人で前年に比べ 911 千人、15.7%増加しました。中止又は規模を縮小して開催されていた、おおがわら桜まつりや船岡城址公園での桜まつりが4年ぶりに通常規模で開催されたことなどにより、多くの観光客で賑わいが見られ、増加しました。

仙台圏域では、観光客入込数が 39,360 千人で前年に比べ 7,538 千人、23.7%増加しました。参加人数や飲食ブースの制限など、規模を縮小して開催されていた仙台の主要な祭りやイベントが、コロナ拡大前の通常規模で開催されたことや、全国都市緑化仙台フェアなど、新たなイベントが開催されたことに伴い、仙台城址などの周辺施設への入込客が増加しました。

大崎圏域では、観光客入込数が 8,094 千人で前年に比べ 1,002 千人、14.1%増加しました。全国旅行支援による宿泊観光客数の増加に伴い、鳴子温泉や中山平温泉などの温泉地やその周辺の主要観光地の観光客が増加したことが要因として考えられます。

栗原圏域では、観光客入込数が 1,663 千人で前年に比べ 246 千人、17.3%増加しました。新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、圏域の主要観光地点である栗駒山及びその周辺施設への観光客の増加があったことによるものと考えられます。

登米圏域では、観光客入込数が 2,807 千人で前年に比べ 224 千人、8.7%増加しました。NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」による集客効果が落ち着いたことなどにより、多くの観光施設では昨年と同水準の入込客数であるものの、道の駅



表1 令和5年観光客入込数

(単位:人)

圏域	地区	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	前年比 (R5/R4)	増減数 (R5-R4)
仙南	蔵王	3,730,331	3,509,563	3,128,970	3,080,593	4,176,402	106.3%	220,768
	阿武隈溪谷	566,354	551,033	382,896	390,536	527,095	102.8%	15,321
	その他の地域	2,405,280	1,730,770	1,558,536	1,428,051	2,478,271	139.0%	674,510
	小計	6,701,965	5,791,366	5,070,402	4,899,180	7,181,768	115.7%	910,599
仙台	旧仙台市	19,356,413	15,269,744	9,569,808	4,935,368	16,548,065	126.8%	4,086,669
	松島	5,623,815	4,448,852	2,976,899	3,409,465	5,974,915	126.4%	1,174,963
	二口峡谷	2,145,514	2,086,139	1,815,605	2,127,746	3,148,248	102.8%	59,375
	船形連峰	4,028,165	2,218,250	2,048,518	1,625,234	2,378,458	181.6%	1,809,915
	その他の地域	8,205,950	7,798,872	6,736,061	6,435,773	8,738,940	105.2%	407,078
	小計	39,359,857	31,821,857	23,146,891	18,533,586	36,788,626	123.7%	7,538,000
大崎	鳴子温泉郷	1,205,991	1,153,220	959,570	1,068,927	1,754,979	104.6%	52,771
	薬菜山	1,345,221	1,215,875	1,210,283	1,094,745	1,373,635	110.6%	129,346
	その他の地域	5,542,713	4,722,440	4,097,036	4,425,976	6,277,474	117.4%	820,273
	小計	8,093,925	7,091,535	6,266,889	6,589,648	9,406,088	114.1%	1,002,390
栗原	全域	1,663,440	1,417,568	1,310,278	1,360,855	1,900,378	117.3%	245,872
登米	全域	2,807,061	2,583,246	2,753,836	2,453,315	3,471,193	108.7%	223,815
石巻	全域	6,368,073	5,379,005	3,642,496	3,370,245	5,501,758	118.4%	989,068
気仙沼	気仙沼・唐桑半島	1,665,865	1,726,867	1,681,386	1,338,566	2,265,950	96.5%	△ 61,002
	南三陸海岸	1,575,973	1,426,388	1,073,564	902,636	1,444,757	110.5%	149,585
	小計	3,241,838	3,153,255	2,754,950	2,241,202	3,710,707	102.8%	88,583
合計		68,236,159	57,237,832	44,945,742	39,448,031	67,960,518	119.2%	10,998,327

注)蔵王地区(白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町)阿武隈溪谷地区(丸森町)松島地区(松島町、塩竈市、七ヶ浜町)二口峡谷地区(旧秋保町、旧宮城町作並・奥新川)船形連峰地区(旧宮城町定義、旧泉市、大和町)鳴子温泉郷地区(旧鳴子町)薬菜山地区(加美町、色麻町)気仙沼・唐桑半島地区(気仙沼市)南三陸海岸地区(旧本吉町、南三陸町)

(3) 季節別観光客入込数

季節別の観光客入込数は、「春季」(4~6月)は17,814千人で前年より3,763千人、26.8%の増加、「夏季」(7~8月)では14,933千人で前年より2,180千人、17.1%の増加、「秋季」(9~11月)では16,620千人で前年より1,145千人、7.4%の増加、「冬季」(1~3月、12月)では18,869千人で3,911千人、26.1%の増加となりました。(図4、表2)

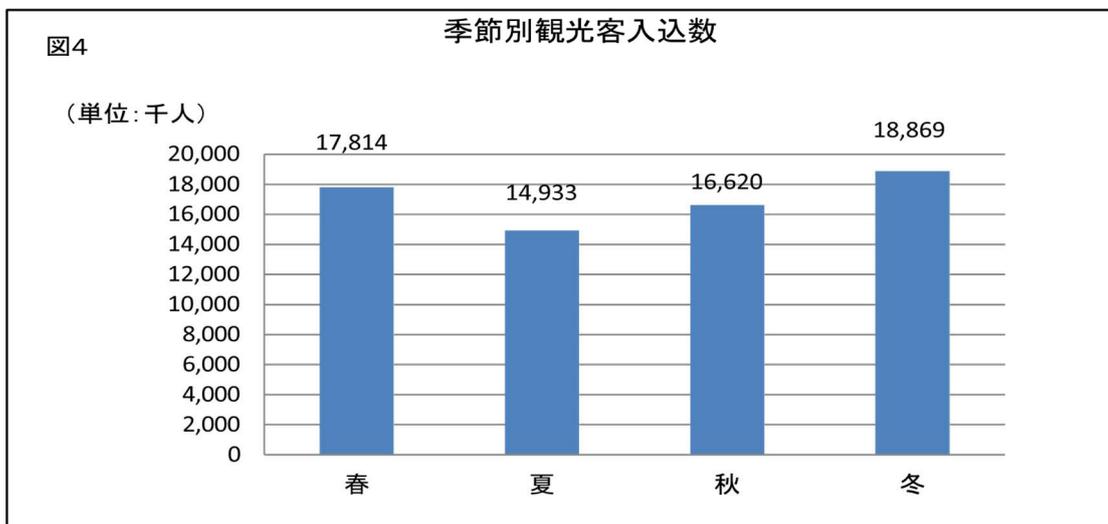


表2 季節別観光客入込数

(単位:人、%)

圏域	地区	春 (4、5、6月)	夏 (7、8月)	秋 (9、10、11月)	冬 (1、2、3、12月)
仙南	蔵王	1,146,474 (30.7)	710,316 (19.0)	1,047,640 (28.1)	825,901 (22.1)
	阿武隈溪谷	205,749 (36.3)	100,510 (17.7)	129,876 (22.9)	130,219 (23.0)
	その他の地域	1,046,767 (43.5)	335,514 (13.9)	524,433 (21.8)	498,566 (20.7)
	小計	2,398,990 (35.8)	1,146,340 (17.1)	1,701,949 (25.4)	1,454,686 (21.7)
仙台	旧仙台市	5,107,064 (26.4)	5,230,835 (27.0)	3,892,012 (20.1)	5,126,502 (26.5)
	松島	1,203,917 (21.4)	1,186,383 (21.1)	1,442,274 (25.6)	1,791,241 (31.9)
	二口峡谷	512,035 (23.9)	423,532 (19.7)	628,116 (29.3)	581,831 (27.1)
	船形連峰	883,451 (21.9)	435,695 (10.8)	811,782 (20.2)	1,897,237 (47.1)
	その他の地域	2,143,376 (26.1)	1,427,592 (17.4)	2,016,113 (24.6)	2,618,869 (31.9)
	小計	9,849,843 (25.0)	8,704,037 (22.1)	8,790,297 (22.3)	12,015,680 (30.5)
大崎	鳴子温泉郷	269,801 (22.4)	185,125 (15.4)	476,961 (39.5)	274,104 (22.7)
	葉菜山	419,658 (31.2)	248,626 (18.5)	424,030 (31.5)	252,907 (18.8)
	その他の地域	1,344,595 (24.3)	1,171,822 (21.1)	1,605,185 (29.0)	1,421,111 (25.6)
	小計	2,034,054 (25.1)	1,605,573 (19.8)	2,506,176 (31.0)	1,948,122 (24.1)
栗原	全域	401,241 (24.1)	420,890 (25.3)	518,725 (31.2)	322,584 (19.4)
登米	全域	764,210 (27.2)	551,572 (19.6)	688,574 (24.5)	802,705 (28.6)
石巻	全域	1,535,876 (24.1)	1,653,442 (26.0)	1,582,433 (24.8)	1,596,322 (25.1)
気仙沼	気仙沼・唐桑半島	378,031 (22.7)	452,857 (27.2)	473,296 (28.4)	361,681 (21.7)
	南三陸海岸	452,130 (28.7)	398,681 (25.3)	358,197 (22.7)	366,965 (23.3)
	小計	830,161 (25.6)	851,538 (26.3)	831,493 (25.6)	728,646 (22.5)
合計		17,814,375 (26.1)	14,933,392 (21.9)	16,619,647 (24.4)	18,868,745 (27.7)
対前年増減数(前年比)		3,763,224 (126.8)	2,179,747 (117.1)	1,144,651 (107.4)	3,910,705 (126.1)

(4) 分類別観光客入込数

観光地点を自然、文化・歴史、産業観光などの8つに分類して、観光客入込数の構成比で見ると、多い順に、「買物」が32.2%、「イベント」が17.2%、「文化・歴史」が12.9%となっています。

(表3)

また、中止または規模縮小で開催されていた行事、イベント等の再開により、前年に比べ「行事・催事」が83.9%、「イベント」が38.8%の増加となりました。

表3 分類別観光客入込数

(単位: 上段 千人、下段 %)

圏域	自然	文化・歴史	産業観光	スポーツ施設等	温泉	買物	行事・催事	イベント	合計 (構成比)
仙南	617 (9.2)	469 (7.0)	87 (1.3)	1,535 (22.9)	1,157 (17.3)	2,243 (33.5)	118 (1.8)	476 (7.1)	6,702 (100.0)
仙台	3,247 (8.2)	6,826 (17.3)	3,010 (7.6)	3,718 (9.4)	1,656 (4.2)	9,403 (23.9)	627 (1.6)	10,873 (27.6)	39,360 (100.0)
大崎	465 (5.7)	552 (6.8)	167 (2.1)	352 (4.3)	1,530 (18.9)	4,394 (54.3)	469 (5.8)	166 (2.0)	8,094 (100.0)
栗原	405 (24.4)	78 (4.7)	60 (3.6)	124 (7.5)	171 (10.3)	654 (39.3)	170 (10.2)	0 (0.0)	1,663 (100.0)
登米	54 (1.9)	171 (6.1)	0 (0.0)	502 (17.9)	71 (2.5)	1,876 (66.8)	132 (4.7)	0 (0.0)	2,807 (100.0)
石巻	420 (6.6)	486 (7.6)	984 (15.4)	578 (9.1)	1,605 (25.2)	1,660 (26.1)	501 (7.9)	135 (2.1)	6,368 (100.0)
気仙沼	667 (20.6)	214 (6.6)	103 (3.2)	89 (2.8)	314 (9.7)	1,737 (53.6)	1 (0.0)	117 (3.6)	3,242 (100.0)
合計	5,876 (8.6)	8,796 (12.9)	4,411 (6.5)	6,898 (10.1)	6,504 (9.5)	21,967 (32.2)	2,018 (3.0)	11,766 (17.2)	68,236 (100.0)
対前年 増減数 (前年比)	889 (117.8)	1,136 (114.8)	707 (119.1)	551 (108.7)	822 (114.5)	2,685 (113.9)	921 (183.9)	3,288 (138.8)	10,998 (119.2)

※四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

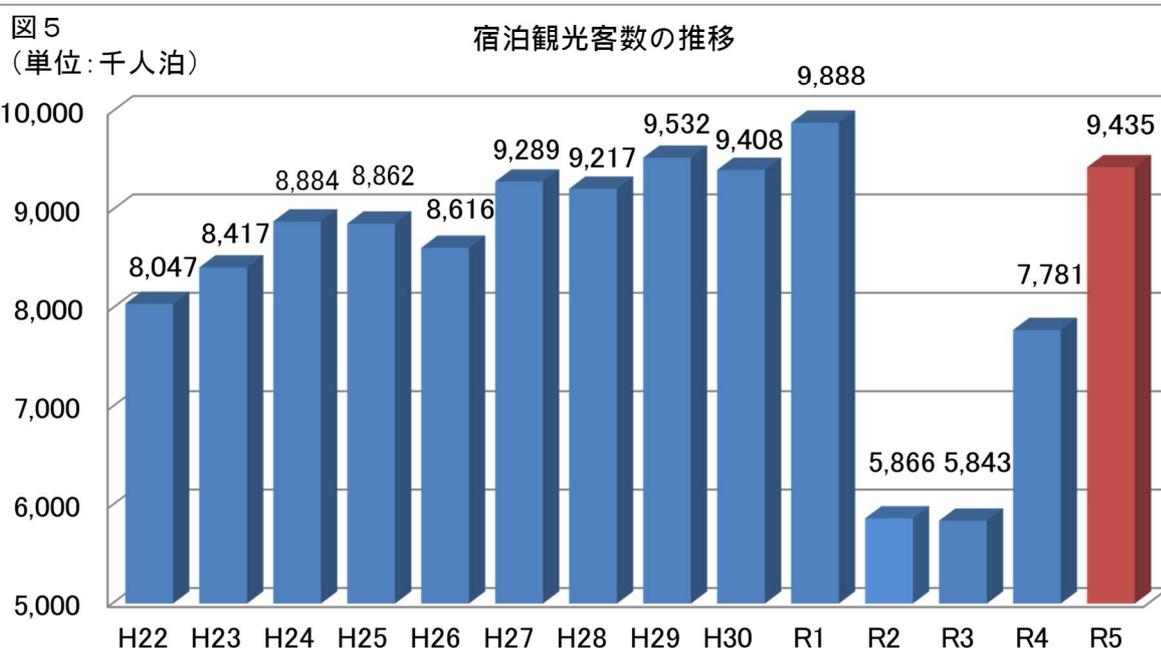
(5) 宿泊観光客数

県内全体の宿泊観光客数は、9,435 千人泊で、前年に比べ 1,654 千人泊の大幅増加(+21.2%)とな

り、コロナ拡大前の令和元年の水準と同程度に回復しています。(図5)

観光客入込数と同様、コロナ5類への移行による宿泊需要の回復のほか、前年から引き続き実施された全国旅行支援による需要喚起策、教育旅行誘致やインバウンド誘客施策、宿泊施設の受入環境整備等の取組の成果が寄与したものと考えております。

一方で地域によって、令和元年水準までの回復率に差が生じており、特に大崎圏域においては、宿泊施設の廃業や、人手不足による客室稼働率の制限、施設改修に伴う客室数の減少などの要因により、令和元年比約7割の回復に留まっております。



(6) 圏域別宿泊観光客数

圏域別割合をみると、宿泊観光客数の多かった順に、仙台圏域 77.1%、仙南圏域 6.7%、大崎圏域 5.7%となっており、全体の約 4 分の 3 が仙台圏域に集中しており、特に旧仙台市地区が高い割合を占めています。(図6、図7、表4)

図6 圏域別宿泊観光客数

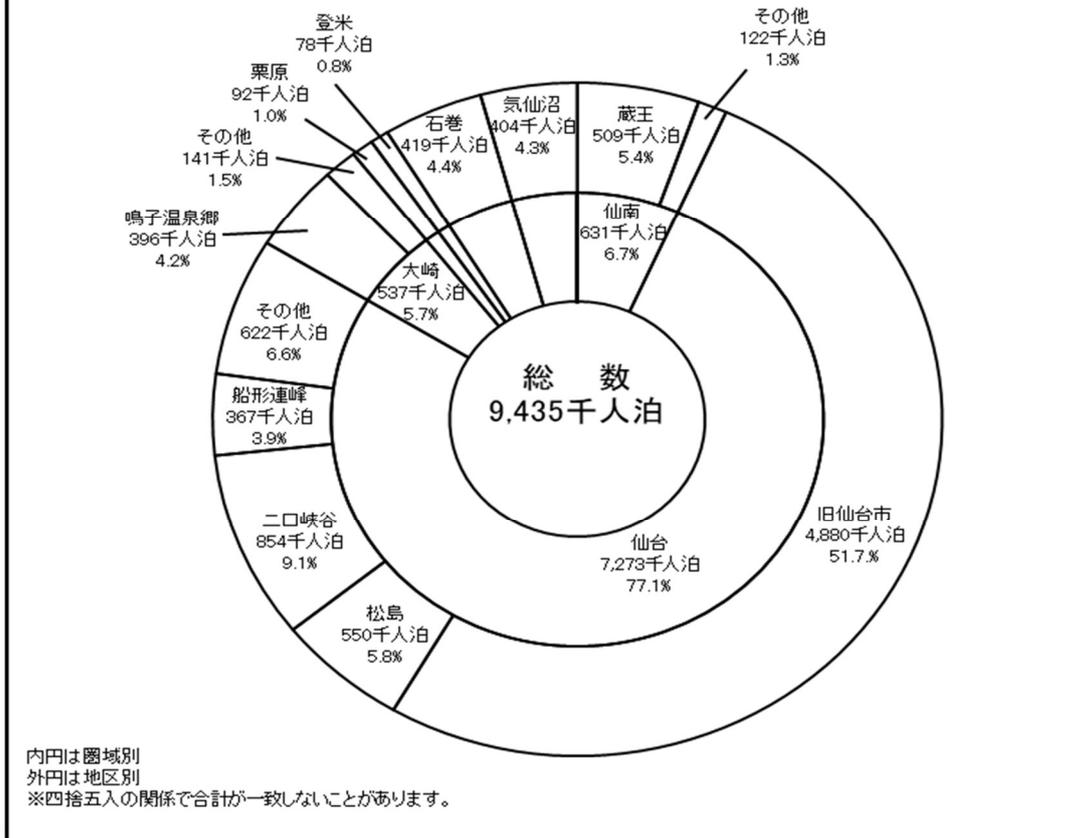
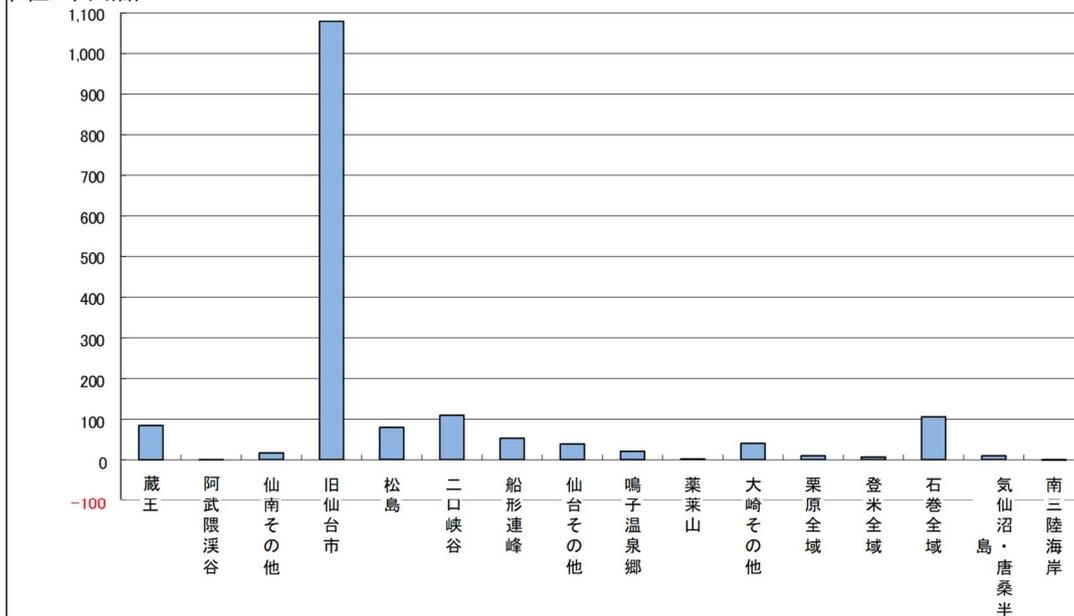


図7

宿泊観光客数の対前年増減数

(単位: 千人泊)



注) 蔵王地区(白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町) 阿武隈溪谷地区(丸森町) 松島地区(松島町、塩竈市、七ヶ浜町) 二口峡谷地区(旧秋保町、旧宮城町作並・奥新川) 船形連峰地区(旧宮城町定義、旧泉市、大和町) 鳴子温泉郷地区(旧鳴子町)、葉菜山地区(加美町、色麻町)、気仙沼・唐桑半島地区(気仙沼市)、南三陸海岸地区(旧本吉町、南三陸町)

表4 令和5年宿泊観光客数

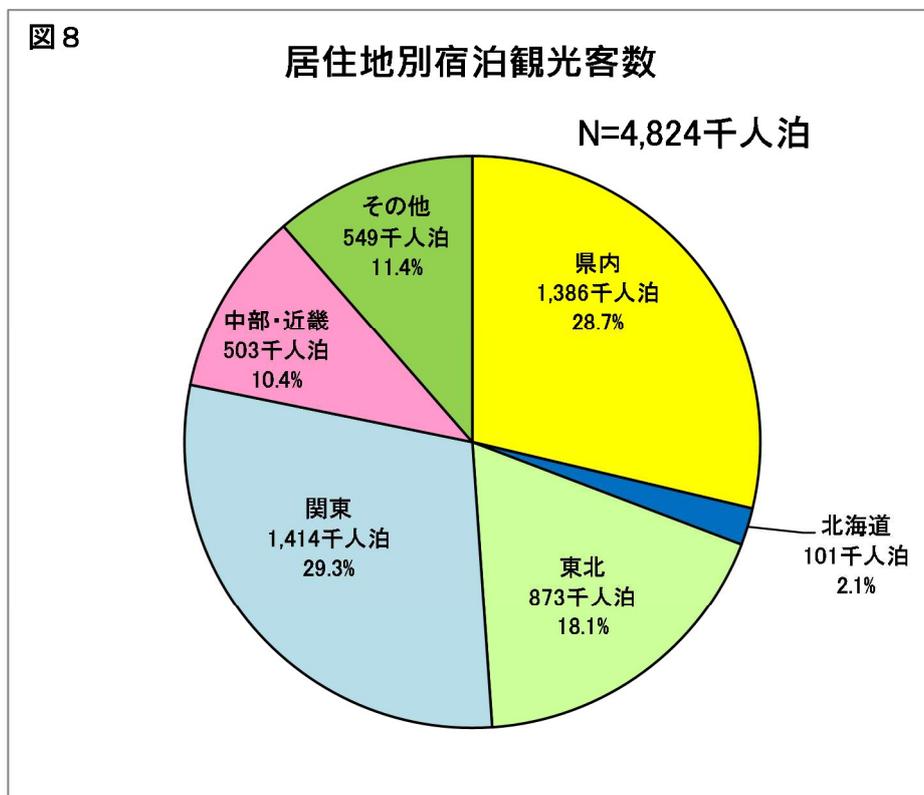
(単位：人泊)

圏域	地区	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	前年比 (R5/R4)	増減数 (R5-R4)
仙南	蔵王	509,210	424,367	323,315	313,295	592,341	120.0%	84,843
	阿武隈溪谷	9,699	10,121	9,063	8,311	11,458	95.8%	△ 422
	その他の地域	111,844	95,212	84,731	84,339	106,162	117.5%	16,632
	小計	630,753	529,700	417,109	405,945	709,961	119.1%	101,053
仙台	旧仙台市	4,880,439	3,801,043	2,929,718	2,773,625	4,892,986	128.4%	1,079,396
	松島	549,542	470,054	292,242	383,045	629,216	116.9%	79,488
	二口峡谷	854,193	744,594	521,760	643,190	1,069,305	114.7%	109,599
	船形連峰	366,632	313,427	247,022	220,961	323,131	117.0%	53,205
	その他の地域	622,285	584,098	358,893	329,609	506,430	106.5%	38,187
	小計	7,273,091	5,913,216	4,349,635	4,350,430	7,421,068	123.0%	1,359,875
大崎	鳴子温泉郷	396,200	375,900	270,600	344,200	530,100	105.4%	20,300
	薬菜山	22,348	20,923	18,092	13,244	21,092	106.8%	1,425
	その他の地域	118,714	78,525	103,181	110,822	216,379	151.2%	40,189
	小計	537,262	475,348	391,873	468,266	767,571	113.0%	61,914
栗原	全域	92,478	82,559	66,966	54,992	105,266	112.0%	9,919
登米	全域	77,721	71,427	54,772	53,003	88,597	108.8%	6,294
石巻	全域	419,154	313,355	234,419	229,721	378,992	133.8%	105,799
気仙沼	気仙沼・唐桑半島	253,315	243,236	227,000	189,350	240,349	104.1%	10,079
	南三陸海岸	150,841	152,373	101,373	114,031	175,849	99.0%	△ 1,532
	小計	404,156	395,609	328,373	303,381	416,198	102.2%	8,547
合計		9,434,615	7,781,214	5,843,147	5,865,738	9,887,653	121.2%	1,653,401

注) 蔵王地区(白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町) 阿武隈溪谷地区(丸森町) 松島地区(松島町、塩竈市、七ヶ浜町)  
二口峡谷地区(旧秋保町、旧宮城町作並・奥新川) 船形連峰地区(旧宮城町定義、旧泉市、大和町) 鳴子温泉郷地区  
(旧鳴子町)  
薬菜山地区(加美町、色麻町) 気仙沼・唐桑半島地区(気仙沼市) 南三陸海岸地区(旧本吉町、南三陸町)

(7) 居住地別宿泊観光客数

宿泊観光客数を居住地別にみると、宿泊観光客数は、居住地不明を除き、関東地方が 1,414 千人泊（構成比 29.3%）と最も多く、次いで宮城県内で 1,386 千人泊（同 28.7%）、東北地方（宮城県を除く）で 873 千人泊（同 18.1%）となっており、それらを合計すると、全体の約 4 分の 3 以上を占めています。（図8）



(8) 主要な行事・イベント等の観光客入込数

県内の主要な行事・イベント等の観光客入込数については、人数の多い順に「仙台七夕まつり(8月)」、「SENDAI 光のページェント(12月)」、「全国都市緑化仙台フェア(4月~6月)」となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大後、規模を縮小して開催されていた主要な行事・イベントの多くが通常規模で再開されました。（表5）

表5 主要な行事・イベント等の観光客入込数

(単位:千人)

市町村	観光地点	R5年入込	R4年入込	R3年入込	前年比	
					増減 (R5-R4)	対前年比 (R5/R4)
仙台市	仙台七夕まつり	2,269	2,250	1,341	19	100.8%
仙台市	SENDAI光のページェント	2,000	1,700	1,142	300	117.6%
仙台市	全国都市緑化仙台フェア	1,157	0	0	1,157	-
仙台市	仙台・青葉まつり	870	433	0	437	-
仙台市	定禅寺ストリートジャズフェスティバル	550	200	0	350	-
仙台市	仙台七夕花火祭	500	450	0	50	-
仙台市	仙台みちのくYOSAKOIまつり (旧:みちのくYOSAKOIまつり)	300	250	0	50	-
大崎市	古川まつり	290	13	0	277	2162.6%
石巻市	石巻川開き祭り	276	129	0	147	-
大河原町	おおがわら桜まつり	222	0	0	222	-

(9) 観光消費額・観光による経済効果の推計

令和5年の観光消費額直接効果額(観光庁「共通基準による観光入込客統計」より)は 3,985 億円になります。また、産業連関表を用いて波及効果等を推計(※)すると、波及効果が 1,733 億円となり、観光による総合波及効果は 5,379 億円と見込まれます。(表6、表7)

表6 観光消費額単価・観光消費額

区分	観光消費額単価(円/人回)				観光消費額(百万円)				消費額合計 (百万円)
	県内		県外		県内		県外		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
日本人・観光目的	17,196	5,009	29,205	10,321	19,807	97,222	66,938	70,537	254,505
日本人・ビジネス目的	18,769	5,961	34,117	7,771	21,935	1,149	81,940	3,700	108,724
区分	観光消費額単価(円/人回)				観光消費額(百万円)				消費額合計 (百万円)
	観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
訪日外国人	48,680	-	147,617	-	8,622	-	26,685	-	35,307
合 計									398,536

※1 観光庁「共通基準による観光入込客統計」より一部抜粋

※2 県企画部統計課の経済波及効果分析ツールを使用

表7 観光消費額・観光による経済効果

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)				波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果		
		日帰り客	宿泊客	計			
観光目的 県内観光客	宿泊費	0	6,152	6,152	2,922	9,073	833
	飲食費	16,639	3,100	19,739	9,376	29,115	2,674
	みやげ代	24,251	2,640	26,890	12,773	39,663	3,643
	交通費	31,208	4,573	35,781	16,996	52,777	4,848
	入場・観覧費・その他	17,796	1,850	19,646	9,332	28,978	2,662
	総額	89,894	18,314	108,208	51,398	159,606	14,660
							147.5%

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)				波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果		
		日帰り客	宿泊客	計			
観光目的 県外観光客	宿泊費	0	21,103	21,103	9,999	31,102	3,006
	飲食費	12,255	10,634	22,888	10,845	33,734	3,260
	みやげ代	17,860	9,055	26,916	12,754	39,669	3,834
	交通費	20,732	12,390	33,121	15,694	48,815	4,718
	入場・観覧費・その他	13,107	6,346	19,453	9,218	28,671	2,771
	総額	63,953	59,528	123,482	58,510	181,991	17,590
							147.4%

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)				波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果		
		日帰り客	宿泊客	計			
観光目的 訪日外国人 観光客	宿泊費	0	2,798	2,798	1,333	4,132	425
	飲食費	0	1,410	1,410	672	2,082	214
	みやげ代	0	1,201	1,201	572	1,773	182
	交通費	0	1,643	1,643	783	2,426	249
	入場・観覧費・その他	0	842	842	401	1,243	128
	総額	0	7,894	7,894	3,761	11,655	1,198
							147.6%

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)					波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果			
		日帰り客	宿泊客	計				
ビジネス目的 県内観光客	宿泊費	0	7,113	7,113	3,412	10,525	148.0%	1,058
	飲食費	205	3,584	3,790	1,818	5,607		564
	みやげ代	299	3,052	3,352	1,608	4,959		499
	交通費	385	5,288	5,673	2,721	8,395		844
	入場・観覧費・その他	220	2,139	2,359	1,131	3,490		351
	総額	1,109	21,178	22,287	10,690	32,977		3,315

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)					波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果			
		日帰り客	宿泊客	計				
ビジネス目的 県外観光客	宿泊費	0	26,531	26,531	12,634	39,164	147.6%	4,006
	飲食費	660	13,369	14,029	6,680	20,709		2,118
	みやげ代	962	11,384	12,347	5,879	18,226		1,864
	交通費	1,117	15,576	16,693	7,949	24,642		2,521
	入場・観覧費・その他	706	7,979	8,685	4,136	12,820		1,311
	総額	3,446	74,838	78,284	37,278	115,562		11,821

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)					波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果			
		日帰り客	宿泊客	計				
ビジネス目的 訪日外国人 観光客	宿泊費	0	8,661	8,661	4,126	12,787	147.6%	1,314
	飲食費	0	4,364	4,364	2,079	6,443		662
	みやげ代	0	3,716	3,716	1,771	5,487		564
	交通費	0	5,085	5,085	2,422	7,507		772
	入場・観覧費・その他	0	2,605	2,605	1,241	3,846		395
	総額	0	24,431	24,431	11,639	36,071		3,708

区分	消費区分	観光による総合波及効果(百万円)					波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果			
		日帰り客	宿泊客	計				
合計	宿泊費	0	72,358	72,358	34,426	106,784	147.5%	10,643
	飲食費	29,759	36,461	66,221	31,470	97,691		9,493
	みやげ代	43,372	31,049	74,421	35,356	109,777		10,586
	交通費	53,442	44,555	97,997	46,565	144,562		13,951
	入場・観覧費・その他	31,828	21,761	53,589	25,458	79,047		7,618
	総額	158,402	206,184	364,586	173,276	537,861		52,292

表 8 主要観光地点別入込数

(単位：人)

圏域	観光地点	令和5年		令和4年		令和3年		前年比(R5/R4)	
		入込数	宿泊客	入込数	宿泊客	入込数	宿泊客	入込数	宿泊客
仙南	蔵王(刈田山頂)	349,229	0	305,801	0	215,840	0	114.2%	—
	遠刈田温泉	499,601	239,643	450,479	186,159	376,334	135,077	110.9%	128.7%
	えぼしリゾート	82,330	0	98,070	0	78,260	0	84.0%	—
	白石城周辺	86,173	0	12,595	0	45,178	0	684.2%	—
	国営みちのく杜の湖畔公園	603,653	111,163	594,245	108,119	518,008	80,737	101.6%	102.8%
仙台	仙台城跡・瑞鳳殿等	1,014,316	0	508,095	0	437,676	0	199.6%	—
	八木山動物公園等	605,391	0	596,090	0	463,131	0	101.6%	—
	松島海岸	2,952,712	503,342	2,123,521	413,255	1,239,155	242,390	139.0%	121.8%
	志波彦神社・鹽竈神社	1,015,600	0	879,000	0	718,900	0	115.5%	—
	秋保温泉	818,462	712,696	816,837	651,078	595,237	469,888	100.2%	109.5%
	作並温泉	143,129	139,027	102,204	91,689	53,241	49,792	140.0%	151.6%
	泉ヶ岳・七北田周辺	312,037	30,803	253,207	29,620	210,774	23,456	123.2%	104.0%
	定義如来	574,098	0	586,657	0	502,923	0	97.9%	—
大崎	鳴子温泉	543,800	282,500	517,975	266,800	449,300	180,400	105.0%	105.9%
	中山平温泉	133,100	28,000	108,400	21,900	96,200	18,500	122.8%	127.9%
	東鳴子温泉	53,700	28,000	57,200	25,300	47,800	19,500	93.9%	110.7%
栗原	いわかがみ平(栗駒山)	139,890	0	111,260	0	93,720	0	125.7%	—
登米	教育資料館	16,119	0	15,018	0	15,429	0	107.3%	—
石巻	日和山	49,087	0	66,338	0	36,917	0	74.0%	—
	金華山	16,277	1,333	12,322	975	10,265	952	132.1%	136.7%
気仙沼	国立公園気仙沼大島	301,950	0	300,660	0	324,802	0	100.4%	—
	岩井崎園地	156,825	0	152,550	0	138,900	0	102.8%	—
	唐桑半島	150,250	0	174,480	0	174,934	0	86.1%	—
	神割崎	65,257	14,262	62,272	15,174	61,353	9,765	104.8%	94.0%

## 統計資料等を活用した県内景気動向等の分析調査（まとめ）

### I. 宮城県の景気動向

令和6年の宮城県の景気動向は、総じて緩やかに持ち直しているものの、住宅投資、公共投資、個人消費、雇用等において弱い動きとなっている。

#### ①生産：持ち直しの兆しがみられる

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、鉄鋼・非鉄金属工業などで上昇傾向にある。

#### ②住宅投資：弱い動きとなっている

新設住宅着工戸数では、持家は増加傾向にあり、貸家は減少傾向にある。

#### ③公共投資「弱めの動きとなっている」

公共工事請負金額は減少傾向にある。発注者別には、県及び独立行政法人・地方公社等は増加傾向にあり、国及び市町村は大幅な減少傾向となっている。

#### ④個人消費：回復の動きに足踏みがみられる

ドラッグストア販売額は好調で増加傾向にあり、百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額合計は、総じて減少傾向となっている。また、家電大型専門店販売額も同様に減少傾向にある。

物価は、生鮮食品及びエネルギーを含めて上昇傾向にあり、歯止めがかからない状況が続いている。

#### ⑤雇用：持ち直しの動きが弱まっている

有効求人数及び新規求人数は、ともに減少傾向にある。産業別では、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「学術研究、専門・技術サービス業」で増加となった一方、「サービス業」、「建設業」、「製造業」などで減少となっている。

#### ⑥企業倒産：増加している

足下における倒産件数は減少となっているが、年間を通じると総じて増加傾向にある。

### II. 宮城県の商圈（消費購買動向調査）

利府町は、地域型商圈として県内一番の伸長（+17.5%）となっており、地元購買率も前回調査と比較すると11.3ポイント増加している。

#### ①商圈の変化

当町の「利府商圈」は、地域型商圈の位置づけではあるものの仙台市中心部（駅前～一番町）の商圈内吸引人口が減少するなかで、県内でもトップの商圈内吸引人口増加率となっている。

#### ②消費者の買物動向

今回調査（令和3年）で初めて、買物先店舗の形態別支持率（買回品）において、「通信販売（ネットショップ等）」（17.1%）が「一般商店・専門店」（14.3%）を上回った。

#### ③地元商店・商店街に求める役割

地元商店・商店街に求める役割として「日用品・食料品の販売」が最も多く、次いで「外食サービスの提供」「まちのにぎわい創出の担い手」の順となっており、日常生活を支える役割が期待されている。

### Ⅲ. 観光動向（観光統計概要）

コロナ禍の収束により、松島への観光客は戻りつつあるが、観光客入込数、宿泊観光客数ともにコロナ禍前（平成元年）の観光客数には至っていない。

#### ①観光客入込数

松島の観光客入込数は、前年と比較すると 1,174,963 人（126.4%）の増加となっており、大幅な回復傾向にあるが、コロナ禍前の令和元年の観光客入込数までには至っていない。

#### ②宿泊観光客数

松島の宿泊観光客数は、前年と比較すると 79,488 人（116.9%）の増加となっており、観光客入込数の増加も相俟って大幅な回復傾向にあるが、コロナ禍前の令和元年の宿泊観光客数までには至っていない。